



日本加速器学会 設立趣意書

(Particle Accelerator Society of Japan)

加速器は、20世紀前半に原子核物理学を進めるための実験装置として発明され、その後めざましい発展を遂げてきました。加速される粒子も多様化し、さらに二次的に発生する粒子や放射光などの多彩なビームの応用が多方面に広がり、今日の科学技術の発展に大きく貢献しています。我が国においても、時期を同じくして先駆的研究が始まり、既に70年に及ぶ加速器研究の歴史をもっています。いまでは我が国の加速器は質、量ともに世界最高水準にあります。

加速器の原理および技術開発ならびにその応用に関する研究は、我が国では加速器科学と言われていきます。今日、この加速器科学は、物質の根源を究め、宇宙誕生の謎に迫ると共に、がん治療などの先進医療や物質・生命科学の最先端の研究分野、ナノテクノロジー・材料科学および産業応用、さらにはエネルギーや環境科学の分野にも広がっています。

このように発展を遂げてきた加速器は、広範な科学技術と産業に支えられた先端技術の粋を集めて建設される一方、その応用分野の多様化、専門技術の高度化と細分化が著しく進んできています。これに対応して、これまで加速器研究者・技術者は既存の学問分野の学会だけでなく、専門的なテーマ毎の研究交流の場を組織してきました。

しかしながら、加速器とその応用分野の研究者・技術者が一堂に会する場を提供し、さらに研究グループや研究機関間の交流および密接な連携を促進する手段を提供することが、今日ほど強く求められていることはありません。ここに我々は、この時代の要請に応えるために、関連する全ての分野を網羅する日本加速器学会を設立することにしました。

日本加速器学会は会員個人の研究活動と学問の普及に資することを主な目的としますが、さらにこの学会設立を契機として、研究機関等を横断した人的・物的資源の有効な活用による研究・技術開発の促進とその成果の社会・産業への還元、人材の育成、共通の将来構想の検討等が大いに進展するものと期待されます。また我々は、この学会活動を通じて、平和な社会と人類の福祉に貢献したいと願っています。

以上の趣旨にご賛同いただき、全ての加速器関係者が日本加速器学会に参加されることを呼びかけます。

